しめ縄づくりに挑戦しよう！！

●しめ縄とは？

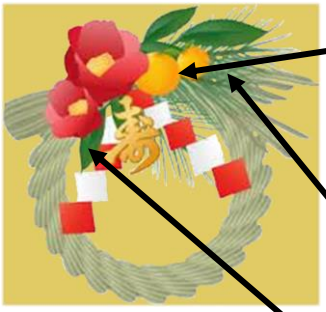
しめ縄とは、これを飾ることによって、災いをもたらす悪いものを寄せ付けないという意味が込められています。

●しめ縄やしめ飾りはいつ飾るの？

しめ縄やしめ飾りは年明け前の 28日までには飾るようにしましょう。
片づける時期は、関西地方では 1月15日に外す地域が多く、外したしめ縄やしめ飾りは集められて左義長(とんど焼き)という行事で焼かれます。また、その火にあたったり、焼いたお餅を食べれば一年健康でいられるという言い伝えがあります。地域によって違うのでお家の人に聞いてみましょう。

●しめ縄の飾りにはどんな意味があるの？

しめ飾りは地域によって飾られているものが違いますが、どの飾り物にもしっかりと意味があります。
ここでは代表的な３つの飾り物の意味を紹介します。



橙(だいだい)
飾られている橙は熟しても木から落ちていない事から、**これからも代々繁栄しますようにという願いが込められています**

裏白(うらじろ)
裏白はシダのような葉っぱで裏が白いので、**表裏がない清い心で年を過ごしたいという思いが込められています。**

紙垂(しで)
稲穂が垂れ下がった形と**稲の力強さを表しています。**

●最後に…

皆さんが大切に育てた水稲を余すところなく使ってしめ縄は作られます。先人の知恵に学び、是非、あなたらしい縁起物を飾って良い年を迎えられますように！

しめ縄の作り方

① 事前準備（藁の用意）

まずは藁（刈り取った稲）を用意します。

② 事前準備（叩いて柔らかくする）

細工しやすくするために、トンカチや重い棒で藁全体を満遍なく叩きます。

次から、本日のしめ縄づくり体験学習内容

1. 束に分ける

紐で藁を 20 本ずつ留め、束を 3 つ作ります。

2. 束を固定する

まずは 2 つの束を重ねます。紐でしっかり固定しましょう。

3. 編み込み①

さっそく束を編んでいきましょう。

全て左巻きで一束ずつ、絞るように編んでいきます。

絞り終えた束は解けてしまわないように指で挟んでおくか、あるいは足で踏みつけておきましょう。そして次の束に取り掛かります。

4. 編み込み②

次に、絞った二つの束を左図のように編み上げます。これも左巻きです。するとガッチリ巻きつくかと思います。そしてこれを残ったもう一つの束に重ねて固定し、再び（2. ）～（4. ）の手順で編み上げます。

左図のようになれば成功です。

5. 輪にする

上図のように輪っかを作ります。

結び目の跳ねた箇所はある程度の長さを残して切ってしまいましょう。

6. 飾り付け

仕上げると上図のようになります。これを土台にして、様々な縁起物『しめ飾り』を付けていきます。

7. 仕上げ

しめ飾りには独特な形をした紙『紙垂』や、ウラジロ科に属する植物『裏白』、柑橘類の一つである『橙』などがあります。しめ飾りには一つ一つ意味があり、『紙垂』は神様の降臨、『裏白』は清廉潔白、『橙』は代々家が絶える事無く栄えるようにという願いが込められています。